

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 1 区分
 【発行日】平成 17 年 9 月 2 日 (2005.9.2)

【公開番号】特開 2004-261103 (P2004-261103A)
 【公開日】平成 16 年 9 月 24 日 (2004.9.24)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-037
 【出願番号】特願 2003-55421 (P2003-55421)
 【国際特許分類第 7 版】

C 1 2 N 1/20
 C 0 8 J 11/10
 // C 0 8 L 75:00

【F I】

C 1 2 N 1/20 Z N A A
 C 1 2 N 1/20 D
 C 1 2 N 1/20 F
 C 0 8 J 11/10
 C 0 8 L 75:00

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 3 月 9 日 (2005.3.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ロドコッカス属に属し、ウレタン結合分解能を有する微生物、またはその変異株。

【請求項 2】

ロドコッカス属に属する微生物がロドコッカス エクイである、請求項 1 記載の微生物。

【請求項 3】

ロドコッカス属に属する微生物がロドコッカス エクイ T B - 6 0 株である、請求項 1 記載の微生物。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の微生物をウレタン化合物と接触させる工程を含む、ウレタン化合物の分解方法。

【請求項 5】

ウレタン化合物がポリウレタンの製造原料となる化合物である、請求項 4 記載の分解方法。

【請求項 6】

ウレタン化合物がポリウレタンである、請求項 4 記載の分解方法。

【請求項 7】

ポリウレタンの分解方法であって、
 ポリウレタンと請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の微生物を接触させる工程、および
 ポリウレタンとポリウレタンのエステル結合分解能を有する微生物を接触させる工程、
 を含む、前記ポリウレタンの分解方法。

【請求項 8】

ポリウレタンのエステル結合分解能を有する微生物が、ペニバチルスアミロリチカス T

B - 1 3 株またはコマモナスアシドボランス T B - 3 5 株である、請求項 7 記載の方法。